

彼方 【かなた】

校長通信
H29.11.21
Vol.20

【心ひとこじ】

閉会式で三つの感謝を伝え、次のような話をしました。「二つ目は、素晴らしいコンクールを企画運営してくれた歌声委員会を中心とした各委員会の皆さんと生徒会役員の皆さんへの活動に感謝です。本当にスムーズな運営で、全ての学級が力を発揮することができました。二つ目は、開会式で『音をよく聴こう！仲間の音をよく聴いて歌おう！他のクラスの頑張りを聴いて、音を楽しもう！』というお話をしました。聴く態度の良さに感謝です。併せて生徒の演奏を聴いていただいた保護者の皆様に感謝です。最後に三つ目、三年生の歌う姿に感謝です。朝礼の話の中で「変わる」というお話をしました。3年生の歌声に対する取り組みの変化はものすごいものがありました。後輩が「来年、3年生みたいに歌えるかな？」と心配するほどの演奏を聴かせてくれたことに感謝です。賞をとっても、とらなくてもどの学級にも大きな賞状が飾れると思います。各学級とも本気で苦勞し、変化を作ってきたと思います。最後に自分たちを讃えて大きな拍手で終わりたいと思います。ありがとうございました！」



今年度の重点に「白山ブランドの構築」を掲げました。その中に「三つの伝統」が入っています。

①「明るく元気な挨拶」②「美しく響く歌声」③「心を磨く清掃」の三つです。今日の合唱コンクールは、二番目に掲げている「美しく響く歌声」を具現化する校内行事です。どの学級も本当に素晴らしい演奏を披露してくれたと思います。一年生は、大きな差もなくどの学級も高いレベルで演奏することができました。審査員泣かせの演奏でした。二年生は、一年違ふとこれほど違うのかというぐらい音に厚みがあり、難しい曲にトライし、よく歌い込んでいたと思います。そして三年生、流石です。中学校三年間の成長は本当に見事です。体育祭の時にたくましさを感じたのと同様に、素晴らしい演奏を披露してくれました。伸びのある女子の声とそれを支える男子パートの厚みは、さすが最高学年！楽器（身体）が大きくなれば音量も大きくなるように迫力を感じる演奏を聴かせてくれました。感激しました。

コンクールですから賞があります。でも、大切なのは結果だけでなく、プロセスだと思っています。ここに至るまでの学級の営みが大切なのです。上手く協力できなかったり、ハ

たり、音が合わなかったり、ハ

ーモニが作れなかったり、いろいろなあったと思います。

それでもその課題をひとつひとつ乗り越えて、ここまで来たことに大きな価値を感じます。

学級の歌声をリードしてきた歌声

委員や歌声部会、パートナー、伴奏者、指揮者、そして曲を紹介したナレーターやポスター作成者に大きな拍手を送りたいと思います。本当に素晴らしい活動でした。

△コンクールの部の結果▽

三年最優秀賞…三年二組「ひめゆりの塔」

優秀賞…三年四組「花をさがす少女」

優秀賞…三年六組「はじまり」

二年最優秀賞…二年六組「ヒカリ」

優秀賞…二年二組「虹」

優秀賞…二年四組「今」

一年最優秀賞…一年四組「地球星歌」

優秀賞…一年二組「HEIWAの鐘」

優秀賞…一年五組「My Own Road」

△ポスターの部の結果▽

三年最優秀賞…三年七組

二年最優秀賞…二年六組

優勝賞…二年三組

一年最優秀賞…一年四組

優秀賞…一年二組

今日の結果を明日からの学級の歌声に生かし、心ひとつに

取り組んで欲しいと思います。

それが、学級のまとまりをつくり、営みとなるのです。

